

(塾名) 小牧市学習支援事業「駒来塾」

(運営主体) 小牧市

(取組の概要)

1 背景・ねらい

中学生の主体的な学習習慣の定着及び学力の向上を図るため、平成29年8月より事業開始した。

2 対象校・対象者

市内4教室(東部・北里・味岡・小牧地区)にて実施。
対象者は塾に通っていない市内全9中学校在籍生徒。

3 実施教科

国語、社会、数学、理科、英語

4 実施場所

市内各市民センター

5 実施の形態

生徒が教えてほしい教科の問題の回答方法や理解が十分でない内容について個別指導している(現在メイン教科として数学、英語を中心に学習)。



6 実施日・回数

毎週木曜日

実施時間帯

午後6時30分～8時

7 登録人数

東部地区11名 北里地区13名 味岡地区17名 小牧地区15名

8 参加人数(平均)

東部地区7名 北里地区8名 味岡地区9名 小牧地区8名

9 コーディネーター等の取組の様子

学習支援員(教員OB)の中から地区の代表(塾長)を指定し、塾長が中心となって運営している。塾開始30分前から準備、担当の打合せを行い、生徒の状況等の情報共有を行っている。

(取組の結果・効果)

平成29年8月から事業を開始し、検討委員会で検証を重ねて順次地区拡大。教員OBや大学生等のサポーターによる寄り添った指導は、参加生徒や保護者から好評を得ている。家庭での学習習慣がついていなかった生徒が「駒来塾」に参加することで、自分から学ぶ姿勢が見られるようになってきた。

コロナ禍においては、活動終了後の反省会を縮小する他、受付での健康チェック、手指・会場消毒の実施、座席間隔の確保、対面での指導から横並びでの指導へ変更するなど、感染症対策を施しながら事業を実施している。